

市政に 対する 一般質問

〽〽11名の議員が質問〽〽

2月定例会の一般質問は、3月7日・8日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

伊藤 勝美	平成29年度当初予算と施政方針について	他
管野 恭子	ピロリ菌の有無・胃粘膜の委縮度調査の「ABC検診」の導入について	他
松野 久郎	平成29年度施政方針について	他
佐藤 龍彦	国民健康保険について	他
平間 知一	病院会計へ繰り入れる予算(案)について	他
佐藤 聡一	介護予防事業について	他
四竈 英夫	施政方針について	他
佐藤 秀行	大人からのメッセージを伝えるプロジェクトについて	他
大野 栄光	戦没者慰霊について	他
菊地 忠久	平成29年度施政方針について	他
沼倉 啓介	子どもの貧困への対策について	他

平成29年度当初予算と施政方針について



伊藤 勝美

〔質問〕平成29年度の予算編成について、市長として最も苦労されたことはどんなことだったのか伺う。

〔答弁〕【市長】市長として初めての当初予算編成にあたり、その事業が本当に必要な事業なのか、その根拠や効果も含めてさまざまな角度から、自分なりに考えて編成した。

市長という立場は、目先のことだけでなく、20年後・30年後のまちを見据えた政策が必要であり、重要であると考えてる。

〔質問〕当初予算編成に当たり、平成28年度の決算見込みをどのように反映したのか。

また、平成29年度当初予算の特徴は何か伺う。

〔答弁〕【市長】社会保障施策に要する扶助費や補助費等の経常的な経費については、平成28年度の実績や決算見込みにより積算して計上している。

特徴としては、子育て支援や学校教育の充実、定住化の促進、6次産業化に向けたモデル事業などの各種施策を実施し、市民生活の発展と地域経済の活性化を図る復興計画の総仕上げの予算編成としている。

◎新地方公会計制度について

〔質問〕現在の本市の財政状況は、これまでも決算報告として示されている。しかし、資

産や将来の負担などについての全体像を示すことについては十分ではないと考える。

そこで、今後において、新地方公会計制度による財務諸表の整備を導入していくことになるが、その前提となる固定資産台帳の整備状況と公表予定について伺う。

〔答弁〕【市長】固定資産台帳は、財務資料作成の基礎資料である。将来の施設更新必要額の推計や施設別のコスト分析といった公共施設等のマネジメントにも活用できるものである。

また、平成28年度の決算では、財務諸表を作成する予定である。その公開時期に合わせ、固定資産台帳も公開できるように準備を進めている。

【その他の質問】

◎教育行政について

◎子ども議会について